KGPN

京都府産の食材を食べて、環境にも地域にもメリットを！

活動地域　京都府

つづける助成 3年目 実践

HPでの事業者紹介	20件
報告会参加者	38人
今年度計画の達成度	70％
目標達成度	70％

地産地消弁当店チラシ（京都市内・南丹版）

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

大規模事業者への参加呼びかけが難しかった。社員食堂などは低価格が優先され、人手不足で余裕がなく、地産地消の取組み拡大には消極的な事業者が多かった。

■工夫した点

事業所のなかで、個人的に、あるいはイベント的に地産地消に気軽に取組みを始められるように、地産地消弁当のチラシを作成して、関係事業者にPRした。

課　題

地元の食材を優先することが環境負荷を下げること、企業として地産地消に取り組むことが社会的責任（地域貢献）になることの認知が低いと感じていた。

目　標

地産地消キャンペーンを実施し、参加企業・団体を増やすことで、地産地消に関心を持つ事業者のネットワークを作り、府内での食の循環を活発にし、環境負荷を減らす。

活動内容と成果

地元食材使用プロモーションへの参加呼びかけ、情報収集のためのヒアリングなどを行い、約80件の生産者、飲食店、地産地消関係者にKGPNの活動を説明することができた。
各事業者に取材して、地産地消の弁当店のチラシを作成し、企業等に配布して利用を呼びかけた。4件の利用があったと報告を受けた。またHPで各事業者の活動を紹介した（生産団体12件、消費団体８件を掲載）。40団体を目指したが半分しか達成できなかった。
3年間の取組みの報告会を開催し（参加者38人）、現場の実態や課題や展望について議論した。

報告会実施風景（事業者の取組み発表）

地産地消事業者紹介（弊会ＨＰ掲載）

全助成期間の活動を振り返って

京都府内を活動範囲としていたが、KGPNの活動資源では京都市とその周辺自治体が現実的な範囲だった。その分、顔の見える良好な関係、継続する取引が成立していったと思う。
グリーン購入や地産地消をテーマに地域内の中小事業者をつなげていくのがKGPNの強みだと感じている。近郊農業など地域の強みをいかし、可能なものは地域内循環ができるような仕組みづくりを京都市域を中心に引き続き行っていく。

〒600-8085
京都府京都市下京区葛籠屋町515-1 ひじきビル4F
NPO法人木野環境内
電話：075-708-8551
E-mail：kgpn@dolphin.ocn.ne.jp
HP：http://www.k-gpn.org/

今後の展望

今後は助成3年間で作成した冊子やHPをもとに、ニーズに応じてできる範囲でマッチングを続けていく。また報告会で、京都市内を中心に活動する、農福連携やフードポリシーカウンシル（FPC）立ち上げ準備会の方々とのつながりも持てたので、今後は地域で活動する方々との連携によって、KGPNが作ったネットワークをどう活用していくか考えていく。